

事務事業名		林道災害復旧事業		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林災害復興G	課長名	宮川 勝	
	施策名	(35)林業の振興		担当者名	高木 洋輔	電話番号	0854-40-1081 (内線) 2404	
	目的対象	市内の森林	意図	適正に森林を整備、保全し、森林資源を活用する。				
	基本事業	(101)適正な森林管理		予算科目	0:1:5:5:0:1	大事業名	林道災害復旧事業	
目的対象	市内の森林	意図	適正に管理する。				中事業名	現年林道災害復旧事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
被災箇所	被災箇所の復旧を図る
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊などの被災を受けた林道を原形復旧する事業である。災害として認められる基本事項として、24時間連続雨量80mm以上をクリアすること、また災害規模としては、被害額が40万円以上であることが必要となる。 基本補助率 奥地:65%、その他:50% 高率補助の適用あり(災害発生路線の既設延長等から算定) R3年度 激甚災害(47箇所):補助率 奥地:97.7%、その他:93.6%
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
R2災 復旧工事(繰越分)1箇所 R3災 被災箇所確認、測量設計業務委託、通常査定、工事発注2路線5箇所(山尾谷線、八雲山線)→繰越	特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 竣工箇所数(現年)	箇所	0	1	0	16
イ 竣工箇所数(繰越)	箇所	4	0	1	5
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
【繰越(R2災)】1箇所 工事費:8,646千円、事務費:46千円 計:8,692千円 【現年(R3災)】 委託費:48,549千円 合計:57,241千円 ※地方債:災害復旧債	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円	6,237	7,229	22,438	121,680
		地方債	千円	1,200	2,600	21,500	9,400
		その他	千円				
		一般財源	千円	134	1,174	13,303	2,620
事業費計		千円	7,571	11,003	57,241	133,700	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	被災林道の復旧により、林道の安全性と林道利用者の利便性の維持が図られた。R3災分については、R4年度以降引き続き早期復旧に努める。
② 事業実施するうえでの課題	R3災は非常に箇所数が多く、林道災以外にも農災、公共災など多様な災害が発生した。復旧には複数年かかる見込みであり、他の災害と調整を取りながら計画的な発注が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県等と連携し、円滑に事業進捗するよう努める。